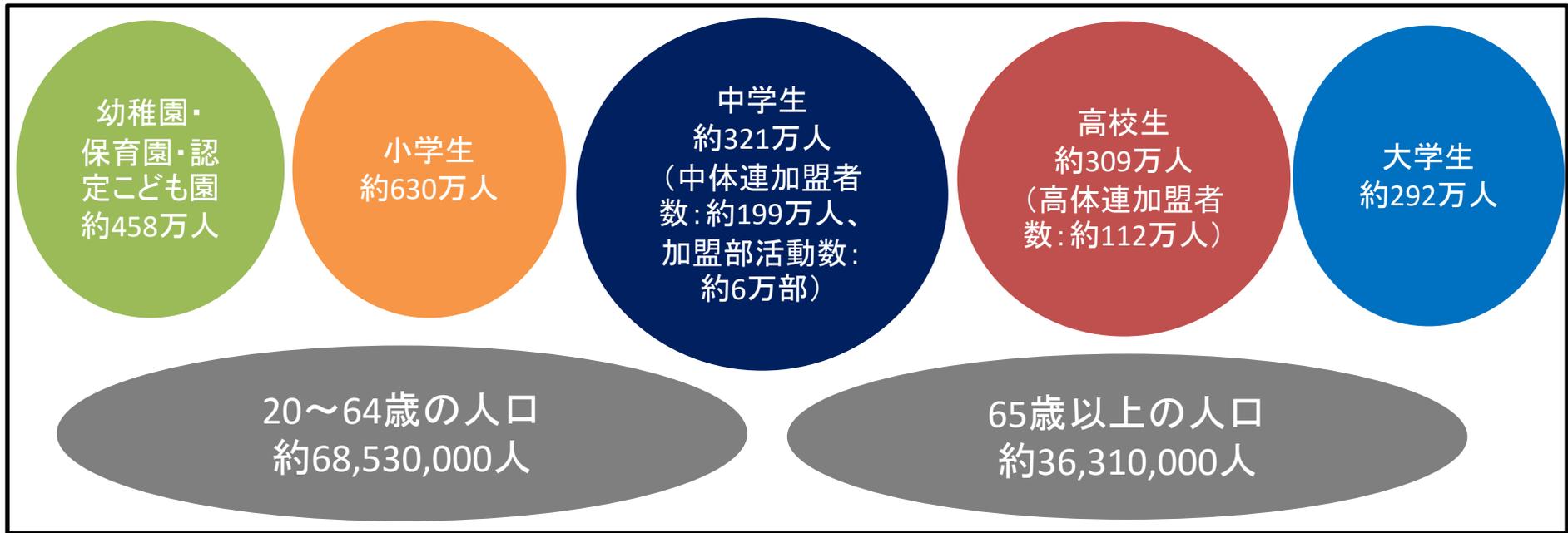


地域スポーツ体制の現状について

1. 総合型地域スポーツクラブについて
2. スポーツ少年団について
3. 民間のフィットネスクラブクラブ等について

0. 地域スポーツ体制の現状図



出典: 「学校基本調査」(令和2年5月1日時点)(幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校・大学の児童・生徒数について)
「保育所等関連情報取りまとめ」(令和2年4月1日時点)(保育所の児童数について)
「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」(令和2年7月時点)(総合型地域スポーツクラブについて)
「スポーツ少年団育成報告書」(令和2年3月時点)(スポーツ少年団について)
「特定サービス産業動態統計調査」(令和3年4月時点)(民間スポーツクラブ等について)
「人口推計」(令和3年5月1日時点(概算値))(人口について)

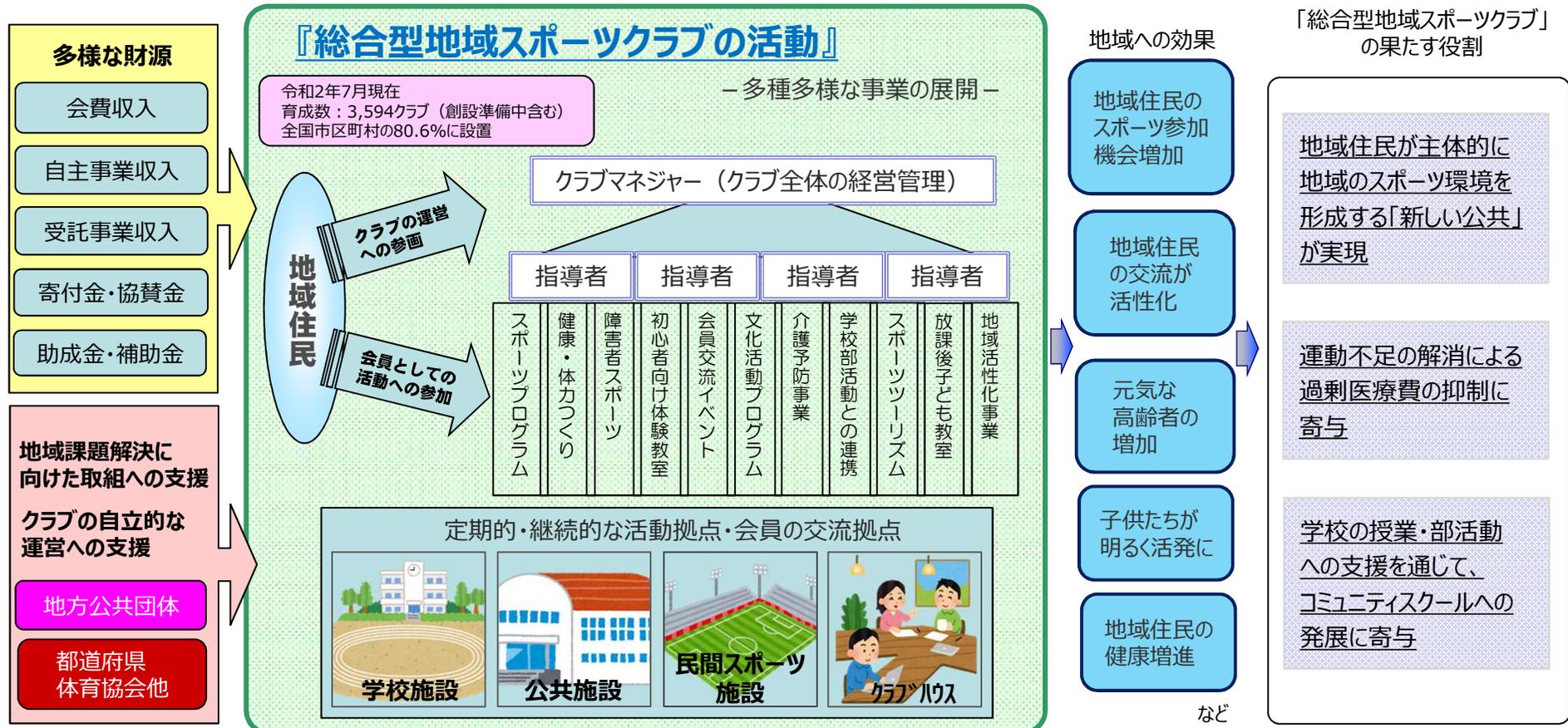
1. 総合型地域スポーツクラブについて

「総合型地域スポーツクラブ」

・・・「多種目」「多世代」「多志向」というスポーツクラブとしての形態により、行政でもなく、民間企業でもなく、地域住民によって、自主的・主体的に運営されているもの。

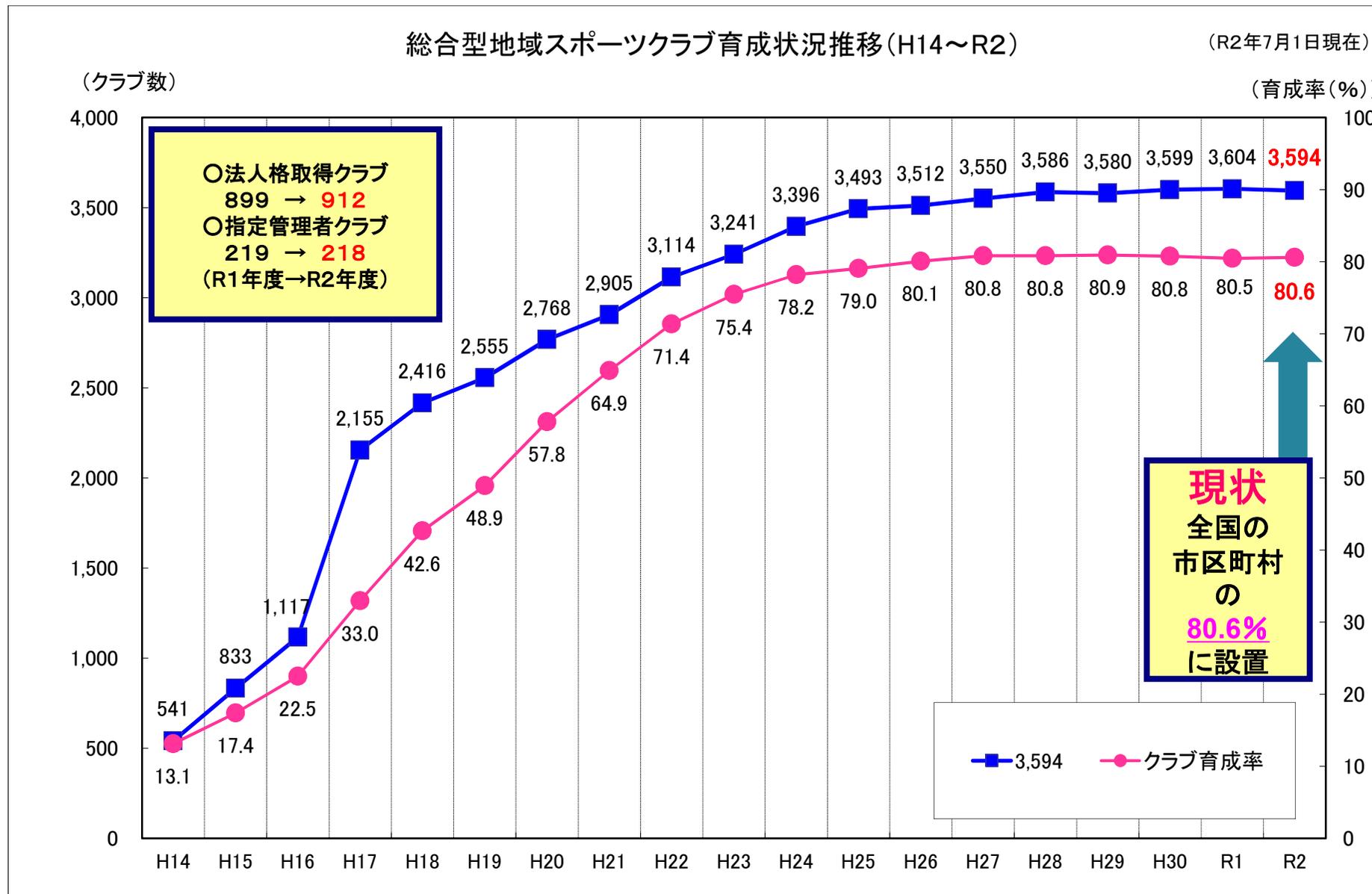
・スポーツ基本法(平成23年法律第78号)

第二十一条 国及び地方公共団体は、国民がその興味又は関心に応じて身近にスポーツに親しむことができるよう、**住民が主体的に運営するスポーツ団体(以下「地域スポーツクラブ」という。)**が行う地域におけるスポーツの振興のための事業への支援、住民が安全かつ効果的にスポーツを行うための指導者等の配置、住民が快適にスポーツを行い相互に交流を深めることができるスポーツ施設の整備その他の必要な施策を講ずるよう努めなければならない。



1. 総合型地域スポーツクラブについて

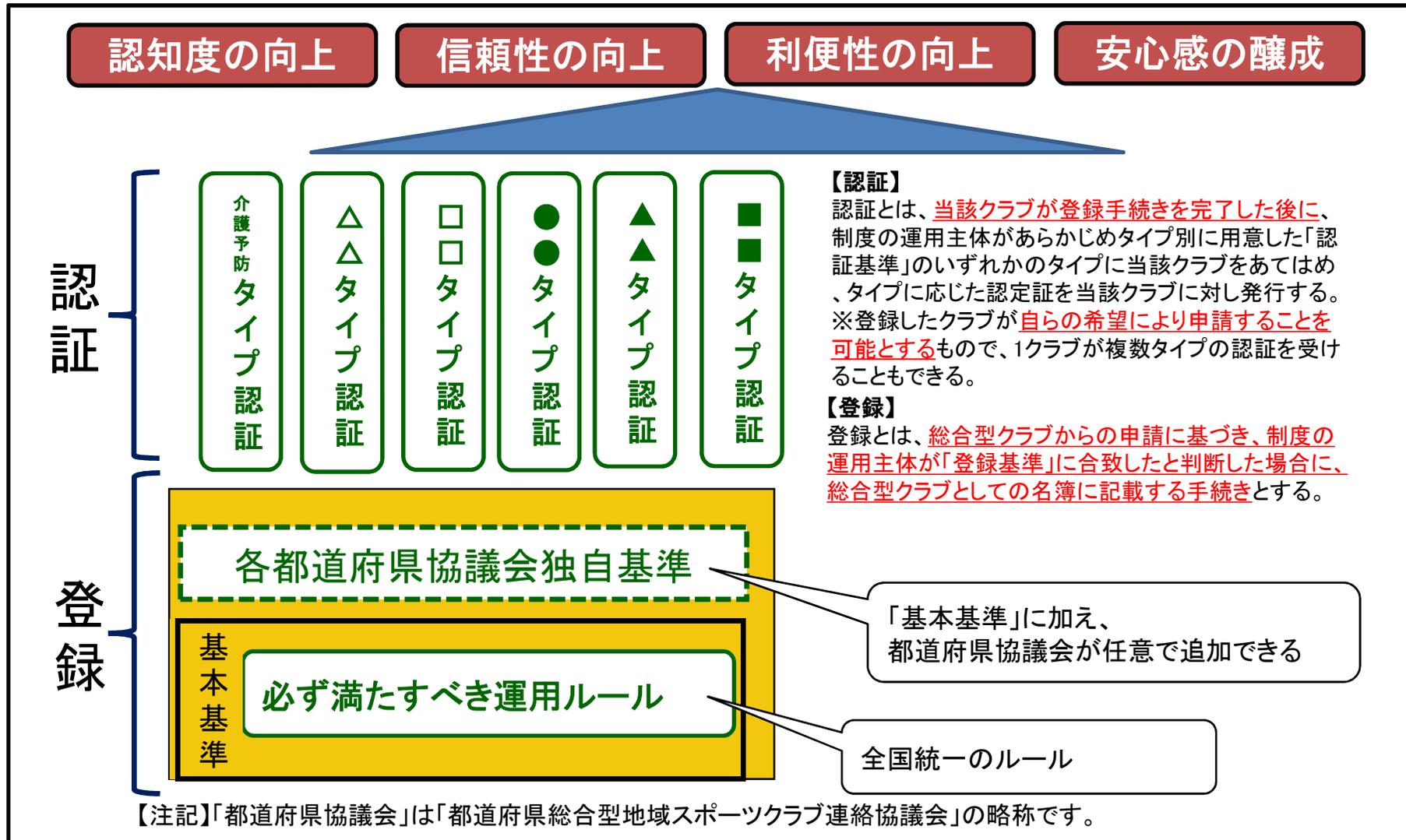
○総合型地域スポーツクラブの設置状況(令和2年7月1日現在)



1. 総合型地域スポーツクラブについて

○総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度

…総合型地域スポーツクラブの質的な担保を行うための制度。スポーツ庁が大枠を策定し、日本スポーツ協会が都道府県ごとに作成する登録・認証基準のひな形を作成。スポーツ庁と日本スポーツ協会による説明会のほか、要望のあった都道府県に個別の説明を実施。出された意見を踏まえひな形を修正し、修正案の説明会を経て制度案を策定（令和2年3月）。令和3年度からの運用開始の予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和4年度からの運用開始とした。



2. スポーツ少年団について

「スポーツ少年団」

○目的・・・スポーツによる青少年の健全育成

○沿革・・・昭和37年、(財)日本体育協会により内部組織として創設。全国的に組織化が図られる。
(各都道府県体協・市町村体協等に少年団本部を設置)

○活動目安・・・身体的、精神的に無理がなく、意欲をもって参加できる活動であること。
単位団活動の目安＝1日2～3時間程度、1週間に2,3回

○単位団概要(令和元年度現在)

団数:31,302団

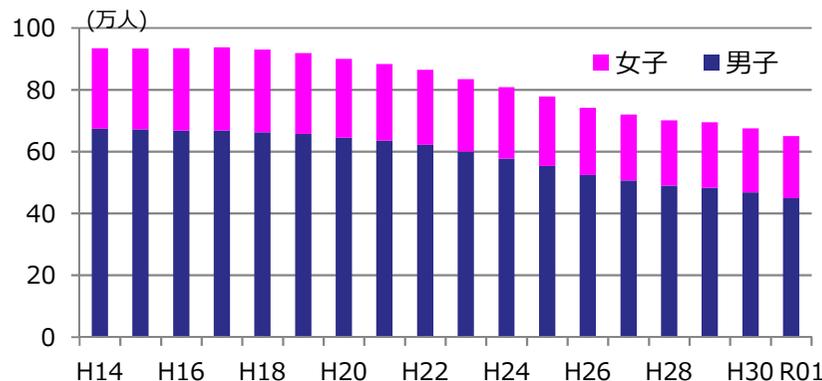
団員数:649,289名(構成割合:幼児小学生86.3%、中学生12.4%、高校生以上1.3%)

加入率:小学生 8.8%、中学生 2.5%

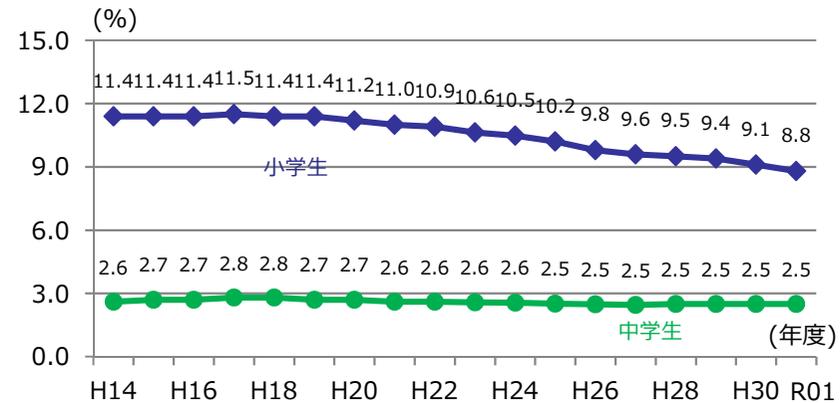
活動種目:軟式野球(19.9%)、サッカー(12.7%)、バレー(11.0%)、バスケット(10.4%)、複合種目(9.9%)等

主たる活動場所:学校施設(68.5%)、公営施設(25.5%)、民営施設(2.2%)、その他(3.6%)

【スポーツ少年団登録団員数の推移】



【スポーツ少年団加入率の推移】



3. 民間のフィットネスクラブ等について

「民間のフィットネスクラブ等」

- 市場規模は2018年12月時点で4,786億円であり、近年小規模フィットネスクラブチェーンの成長や新規参入者によるコンセプトが明確化されたスタジオの出店が増えた影響により、市場規模の拡大が見られる。
- 大手フィットネスクラブについては、既存施設のリノベーションや新しい業態及びサービスに取り組み、業績を維持または伸長させている。特にスタジオのホットヨガ対応、ジムの24時間営業化、パーソナルトレーニングやコンディショニング系・高強度インターバルトレーニング系プログラムを提供するエリアを付設するクラブが多いほか、スイミングスクールや自治体・法人からの受託事業が成長している。
- 会員の年齢層については、総合業態を主力とするフィットネスクラブでは、総会員数に占める中高年層の割合が年々高くなっている。大手民間フィットネスクラブを例にあげると、会員における中高年層（50歳以上）の構成比は50～60%前後となっている。

「スポーツ白書2020」より

○フィットネスクラブの現状について

| | 売上高合計 (百万円) | 利用者数 (人) | 会員数 (人) | 事業所数 | 指導員数 (人) |
|-------|----------------|-------------|------------|-------|-------------|
| 2018年 | 337,263 | 256,243,299 | 3,365,183 | 1,426 | 36,111 |
| 2019年 | 334,780 | 254,507,343 | 3,362,965 | 1,461 | 37,171 |
| 2020年 | 223,517 | 171,582,052 | 2,689,796 | 1,583 | 34,627 |

(経済産業省・特定サービス産業動態統計調査より作成)